法第４０条、岐阜県建築基準条例第６条（がけに近接する建築物の制限）

がけ近接建築物制限における２段の擁壁等の運用細目

２段の擁壁等がある場合の条例第６条第１項の適用は次による。

１．用語の定義

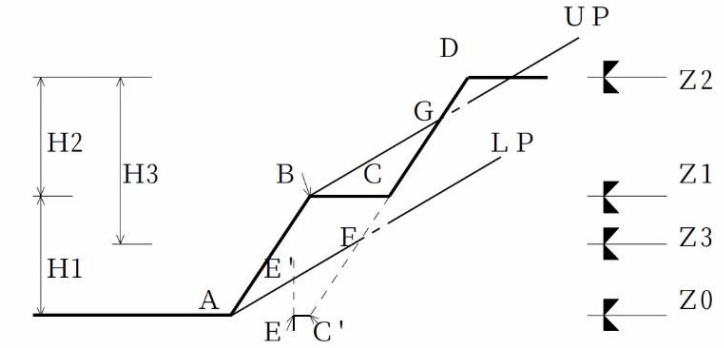
① この運用において、「擁壁」とは法の規定による工作物の確認又は宅地造成等規制法の規定による許可（以下「確認等」という。）を受けるために必要な技術基準に適合する土留めとしての工作物をいい、確認等を必要とする高さ未満のものを含む。

② この運用において、擁壁とならない土留めのための工作物、切土面又は盛土面で条例第６条第１項のがけの定義に相当するものを「がけ」という。

③ この運用において、がけと擁壁等を総称して「急傾斜面」という。

２．記号の定義

Ａ ；急傾斜面ＡＢの下端
Ｂ ；　〃　上端
Ｃ ；急傾斜面ＣＤの下端
Ｃ’ ；ＣＤが擁壁の場合の下端
Ｄ ；急傾斜地ＣＤの上端
Ｅ ；ＣＤが擁壁の場合の基礎の肩
Ｅ’ ；Ｅ点を含む垂直面とＬＰの交点
Ｆ ；直線ＣＤとＬＰの交点
Ｇ ；　〃　ＵＰ　〃
Ｈ1 ；Ｚ1－Ｚ0
Ｈ2 ；Ｚ2－Ｚ1
Ｈ3 ；Ｚ2－Ｚ3
ＬＰ ；Ａ点を含みＺ0と30°をなす面
ＵＰ ；Ｂ点を　〃　Ｚ1　〃
Ｚ0 ；Ａ点を含む水平面
Ｚ1 ；Ｂ点　〃
Ｚ2 ；Ｄ点　〃
Ｚ3 ；Ｆ点　〃



３．４．の表の見方

① ４．の表は、擁壁が練積造である場合を主体に作成したものである。したがって、鉄筋コンクリート造擁壁、重力式擁壁等の場合は「擁壁の高さの限度」は適用しない。また、「練積造不可」部分は、練積造以外の擁壁であれば可となり得ることを示す。

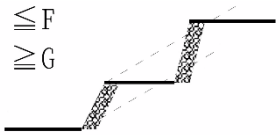
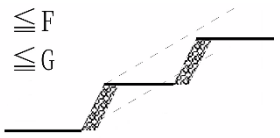
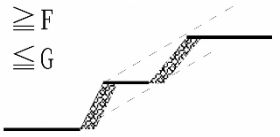
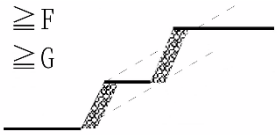
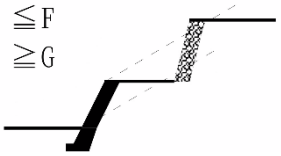
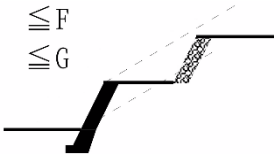
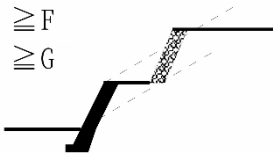
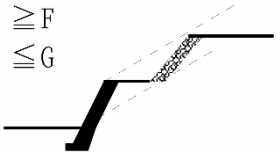
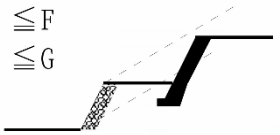
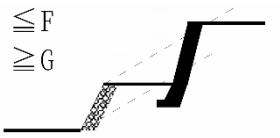
② ４．の表中、（Ｂ）総合判断で「不可」とは、そのような組み合わせがあり得ないことを示し、「可」とは「不可」でないことを示す。

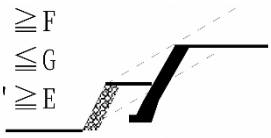
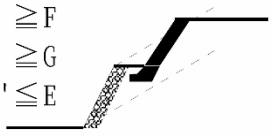
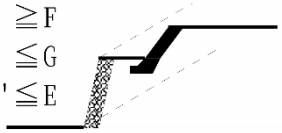
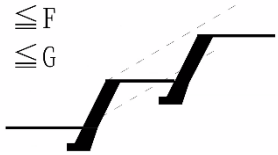
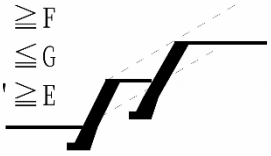
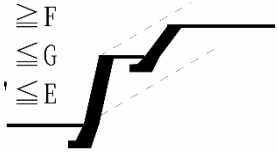
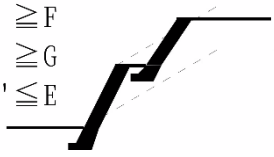
③ 例外として、急傾斜面ＡＢが公共事業により築造された工作物等で保護されている場合で、その工作物等の管理者と協議し、各形態における工作物等の安全性が確かめられた場合には、（１－３）、（１－４）、（３－３）、（３－４）、（３－５）及び（３－６）においてＨ1＝０ｍとして扱う。

④ がけの表示を「」、擁壁の表示を「」とする。

⑤ ＦとＣ、ＧとＤ又はＥとＥ’の上下関係は「≧」により表示する。（例「Ｃ≧Ｆ」：Ｃ点はＦ点より上にあることを示す。）

4．各急傾斜面に対する判断

番号	【A】 急斜面の略断面図	【B】 総合判断	【C】 急斜面ABの状態	【D】 急斜面CDの状態	【E】 備　考
①-1	C ≦F D ≧G 	――	が　け	が　け	ABとCDは それぞれの 高さH1、 H2の 別々のがけ
①-2	C ≦F D ≦G 				
①-3	C ≧F D ≦G 				ABCDは 高さが H1＋H2の 一体のがけ
①-4	C ≧F D ≧G 				
②-1	C ≦F D ≧G 	可	擁　壁 ※H1は 擁壁の高さ 限度以内	が　け	CDは 高さH2 のがけ
②-2	C　≦F D　≦G 				
②-3	C ≧F D ≧G 	練積造 は 不可	練積造擁壁 として安全性 チェック不能	が　け	ABCDは 高さが H1＋H2の 一体のがけ
②-4	C ≧F D ≦G 	可	擁　壁 ※H１は 擁壁の高さ 限度以内	が　け	CDは 高さH2 のがけ
③-1	C ≦F D ≦G 	可	が　け	擁　壁 ※H2は 擁壁の高さ 限度以内	ABは 高さH1 のがけ
③-2	C ≦F D ≧G 				

番号	【A】 急斜面の略断面図	【B】 総合判断	【C】 急斜面ABの状態	【D】 急斜面CDの状態	【E】 備　考
③-3	C ≧F D ≧G E'≧E 	可	が け	擁 壁 ※H3 は 擁壁の高さ 限度以内	ABは 高さH1 のがけ
③-4	C ≧F D ≦G E'≧E 				
③-5	C ≧F D ≧G E'≦E 	不可	が け	擁壁として の安全性 チェック不能	ABCDは 高さが H1＋H2 の 一体のがけ
③-6	C ≧F D ≦G E'≦E 				
④-1	C ≦F D ≦G 	可	擁壁 ※H1 は 擁壁の高さ 限度以内	擁壁 ※H2 は 擁壁の高さ 限度以内	
④-2	C ≦F D ≧G 				
④-3	C ≧F D ≦G E'≧E 				
④-4	C ≧F D ≦G E'≦E 				
④-5	C ≧F D ≧G E'≧E 	可	擁　壁 ※H1 は 擁壁の高さ 限度以内	擁　壁 ※H3 は 擁壁の高さ 限度以内	
④-6	C ≧F D ≧G E'≦E 	ABが 練積造 の場合 不可	練積造擁壁 として安全性 チェック不能	——	

（注）擁壁の高さ限度は、土質、勾配を因子として決定される。